

講義名	日本語B（聞く）			授業形態	
担当教員	福岡 寿美子	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

留学生が、外国語としての日本語の聴解と発音について学ぶ。
日本語の聴解では、聞き取りの際の間違いやすい発音や文法等の基本的な練習を行う。
日本語の発音では、表現したい内容を聞きやすく分かりやすい発音で話せるようになるための練習を行う。
特に話しことばの発音およびオノマトベについて学ぶ。

到達目標

発音に関する聞き取りでは、留学生が発音と表記に留意し、縮約形などの話しことばが聞き取れるようになることを到達目標とする。
文法に関する聞き取りでは、留学生が発音、使役、敬語等が理解できるようになることを到達目標とする。
会話表現では、留学生が会話らしい表現や取りに慣れることを到達目標とする。
留学生がオノマトベについて理解し、日本語の表現が豊かになることを到達目標とする。
留学生が正確で自然な発音で話せるようになることを到達目標とする。
留学生が十分な発音でコミュニケーションをスムーズに行えるようになることを到達目標とする。
各到達目標については、小テスト、中間試験、期末試験等において、その到達度を測る。
留学生が考える学習を行うようになることを到達目標とする。

提出課題

予習、復習、ワークシート等、授業中にその都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各学生が提出した課題について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、次の授業において、自々に返却をし、全体としての講評・解説等も行い、フィードバックをする。

評価の基準

期末試験（30％）、中間試験（10％）、小テスト（10％）、課題の提出（20％）、授業参加度（30％）等による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とし、全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
遅刻3回で1回欠席とする。
15分以上の遅刻は欠席となる。
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

.コミュニケーションのための日本語発音レッスン. 戸田貴子 スリーエネットワー 3,300 9784883192953

その他

必要に応じてプリント資料を配布する。
*日本語聴解とめ11 聴解：広木紀子・松本紀子著 アスク出版
*教師用日本語教育ハンドブック 発音：今田滋子著 国際交流基金日本語国際センター 凡人社
*上級の力をつける聴解ストラテジー上/下。川口まゆ子・桐生新子・杉村和枝・根本牧・原田明子著 凡人社
*シャドーイングで日本語発音レッスン。戸田貴子編著 スリーエネットワー

授業計画

- 1回：イントロダクション
授業の進め方および注意事項、スケジュール、教材、評価方法等
聴解力プレースメントテスト。他
【予備】シラバスを熟読し、その内容を理解して確認する。（1時間）
【復習】聴解力プレースメントテストの総確認をして、総復習をする。（3時間）
- 2回：発音に関する聞き取り、ディクテーション。他
【予備】発音に関する聞き取り、ディクテーションの縮約形の学習をする。（2時間）
【復習】練習問題の総確認をして、総復習をする。（2時間）
- 3回：文法に関する聞き取り、ディクテーション。他
【予備】文法に関する聞き取り、ディクテーションの表現、事象、例の予習をする。（2時間）
【復習】練習問題の総確認をして、総復習をする。（2時間）
- 4回：文法に関する聞き取り、ディクテーション。他
【予備】テキスト（プリント）の縮約形の学習をする。（2時間）
【復習】練習問題の総確認をして、総復習をする。（2時間）
- 5回：会話表現、ディクテーション。他
【予備】テキスト（プリント）の会話表現、省略、副詞の予習をする。（2時間）
【復習】練習問題の総確認をして、総復習をする。（2時間）
- 6回：話しことばの発音、ディクテーション。他
【予備】話しことばの発音、ディクテーションの発音と練習をする。（2時間）
【復習】話しことばの発音と元の形と意味を覚える。（2時間）
- 7回：話しことばの発音、ディクテーション。他
【予備】話しことばの発音の発音の変化の法則を覚える。（2時間）
【復習】話しことばの発音の変化の法則を覚える。（2時間）
- 8回：中間理解度試験の実施およびその解説。他
【予備】中間理解度試験（発音・文法・会話等）の試験勉強をする。（3時間）
【復習】中間理解度試験（発音・文法・会話等）の総確認をして、総復習をする。（1時間）
- 9回：話しことばの発音、ディクテーション。他
【予備】話しことばの発音の発音の変化の法則を4つのグループに分けて発音する。（2時間）
【復習】応用練習1の発音の変化の法則を覚える。ディクテーションの意味を考える。（2時間）
- 10回：話しことばの発音、ディクテーション。他
【予備】話しことばの発音の発音の変化の法則を覚える。（2時間）
【復習】応用練習2の発音の変化を覚える。「考える学習型授業」の加減問題シートをする。（2時間）
- 11回：オノマトベ ディクテーション。他
【予備】オノマトベの発音と意味を覚える。（2時間）
【復習】オノマトベの発音と意味の違いを整理して覚える。ディクテーションの意味を考える。（2時間）
- 12回：オノマトベ ディクテーション。他
【予備】オノマトベの発音と意味を覚える。（2時間）
【復習】「考えてみよう」を理解し覚える。ごころごころの意味のネットワークのシートを理解し覚える。（2時間）
- 13回：オノマトベ ディクテーション。他
【予備】オノマトベの発音と意味を覚える。（2時間）
【復習】応用練習1の発音と意味を覚える。ディクテーションの聴解をする。（2時間）
- 14回：オノマトベ ディクテーション。他
【予備】オノマトベの発音と意味を覚える。（2時間）
【復習】応用練習2のロールプレイングのワークシートをする。ディクテーションの総確認をする。（2時間）
- 15回：総復習および期末試験について
【予備】オノマトベの総まとめシートを読む。期末試験のための総復習をする。（3時間）
【復習】期末試験のための総確認をして、総復習をする。（1時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

日本語聴解能力を身につけ、活用することができる。
聴解能力をつけることにより、人と円滑なコミュニケーションをとることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考